

(様式2)

令和 3 年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

|         |                       |            |  |
|---------|-----------------------|------------|--|
| 事業所番号   | 1575900194            |            |  |
| 法人名     | 社会福祉法人苗場福祉会           |            |  |
| 事業所名    | グループホームひまわり           |            |  |
| 所在地     | 新潟県中魚沼郡津南町大字芦ヶ崎乙355番地 |            |  |
| 自己評価作成日 | 令和3年7月10日             | 評価結果市町村受理日 |  |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

|          |   |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | <a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/15/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=1575900194-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/15/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=1575900194-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a> |
|----------|---|

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                  |  |  |
|-------|------------------|--|--|
| 評価機関名 | 公益社団法人新潟県介護福祉士会  |  |  |
| 所在地   | 新潟県新潟市中央区上所2-2-2 |  |  |
| 訪問調査日 | 令和3年8月26日        |  |  |

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホームひまわりでは、お客様の性格や身体状況・生活歴等の特性に配慮しケアを提供できるように心がけています。認知症になっても安心して、慣れ親しんだ地域で生活が継続できるように、定期的なアセスメントや担当者会議を行いその方の今の状態に応じたプラン作成、地域との交流を大切にしています。  
地域密着型サービスとして認知症カフェなど地域の方との交流を行っていましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため地域交流は行えていませんが施設内にてお客様が身体を動かす機会を作ったり、施設内で行える企画を実施しています。また、その日の天気を見ながら外へ気分転換に散歩に出るなど対応を行っています。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○法人のスケールメリットと多職種協働  
地域で多くの高齢者福祉サービスを展開する社会福祉法人が運営している、開所21年目を迎えた事業所である。同敷地内の複数の施設とは、職員研修や委員会活動、災害時の対応や利用者の住み替え支援など、協力体制が構築されている。他施設の看護師が定期的に訪問し、日々の健康管理や状態悪化時の相談、緊急時の対応を行っていたり、理学療法士が歩行状態を評価し、歩行器や靴の選定に協力するなど、法人のバックアップ体制が整っており、サービスの質の向上だけでなく、利用者や家族、職員の安心にも繋がっている。

○理念の共有と実践について  
「お客様が生き生きとした生活が送れるグループホームを目指します」という事業所の基本理念を念頭に置きながら、1年毎に事業所目標を作成し、それを基に職員一人ひとりが個人目標を立てている。毎月の部署会議の中で事業所目標・個人目標を評価する時間を設けており、目標や意識を共有し、チーム力を高めている。また、管理者と職員は日頃から気軽に意見交換をしており、何でも言い合える関係づくりがなされている。職員一丸となり、安心で気持ちの良い、その人らしい暮らしの実現に向けて取り組んでいる姿が窺えた。

○食を楽しむための工夫  
毎日の食事は法人の管理栄養士がバランスの取れた献立を作成している。近所の物産館や地元の商店で食材を購入したり、地域の方が差し入れてくれる野菜を使用し、季節ごとの旬を取り入れている。現在は感染防止のため外食は控えているが、料理の下ごしらえや後片付けは利用者と共に行き、曜日を決めて弁当を利用したり、毎月リクエストメニューを提供するなど、食を楽しむための取り組みを実践している。